

橋の名前は私たちの字です

七滝中央小児童が橋名板を設置

九州横断自動車道延岡線工事で上野地区の町道津ヶ峰八勢線に架設が進められている津ヶ峰大橋(長さ76.1m、幅5m)で2月22日、七滝中央小学校(村上孝利校長、72人)の児童が書いた文字の橋名板が設置されました。橋名板は、国土交通省九州整備局が同校に文字のデザインを提案したもので、縦15cm、横30cmのブロンズ製。書体は毛筆で、橋の名前をひらがなや漢字、竣工年月を書いた3枚です。式では、文字を書いた園田莉央さん(水越)、永野綾香さん(上野)、丸山美穂さん(同)に感謝状が贈呈され、参加した地域住民と一緒に橋名板の完成を祝いました。式の後、欄干に橋名板を取り付けた3人は、「字をきれいに書くよう心がけた。6年生最後の記念になった」と喜んでいました。



津ヶ峰大橋の橋名板を書いた児童3人

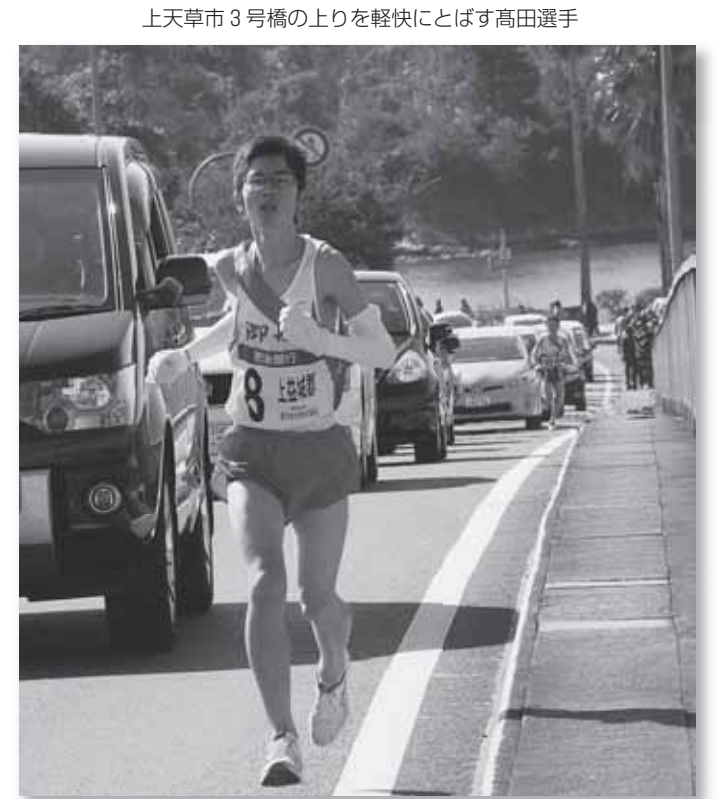
期待の新星が天草路を力走

郡市対抗熊日駅伝で上益城郡3位

第38回郡市対抗熊日駅伝大会は2月12日、天草市役所前をスタート・熊本市のびぶれす熊日会館前をゴールとした14区間105.3kmに19郡市が出場して、上益城郡は3位の好成績を収めました。本町からは、御船中2年の高田凜太郎選手(高木)が初出場。5区・熊日松島販売店前～2号橋公園前の3.7kmを区間7位で力走しました。「順位を落とさずにつなぐ気持ちで走った。アップダウンの激しいコースで、橋付近は風に前に進みづらく苦労した。だけど、沿道からの声援でモチベーションが上がった」と天草路でのレースを振り返ります。高田選手が陸上を始めたのは中学校に入ってからで、小学校時代はとびぬけて足が速かったわけではないそうです。「体力をつけようと思って、陸上を始めた。走ることは好きだったから」と原点を打ち明けます。所属する陸上部での専門は長距離。限られた部活時間と、休日はロードワーク10kmの走り込みで力をつけ、頭角を現してきました。「御船中陸上部は、いいメンバーが揃っている。郡陸上大会や駅伝大会でいい成績を残して、県でも通用するような選手になりたい」と先を見据えます。わずか2年で県最高峰の駅伝大会を経験した期待の新星は、持ち前の努力で輝きを増しながら走り続けます。また、2月26日に益城町で開催された駅伝大会で、御船中が中学の部で優勝。高田選手は、大会最優秀選手に選ばれています。郡市対抗熊日駅伝の結果は次のとおりです。

▼総合成績

- ①天草市 5時間27分34秒
- ②球磨郡 5時間29分59秒



上天草市3号橋の上りを軽快にとばす高田選手

- ③上益城郡 5時間30分14秒
- ④熊本市 5時間31分03秒
- ⑤八代市 5時間32分12秒
- ⑥阿蘇郡市 5時間33分27秒

▼個人(区間・氏名・区間タイム順位・総合順位)
5区・高田凜太郎選手11分59秒⑦⑩

新鮮でうまい地元産の野菜

滝尾小で給食交流会

滝尾小学校(清村勢津子校長、106人)で2月9日、野菜の生産者や集荷業者などを招いて、4年生13人と交流給食会が開かれました。これは、農業や地産地消への意識を高めることを目的に行われました。献立には、米田真伍さん(田代)が収穫したダイコンを使ったサラダ、米村義邦さん(同)が生産したシイタケを使ったクリームスパゲティーなどのメニューを児童と生産者は会話を弾ませながら食べていました。4年生の作田菜々海さんは、「野菜がおいしかった。地元野菜を給食でもっと多く食べたい」と話していました。



生産者や集荷業者と楽しく給食を食べる児童

心も詰め込んだ長生き弁当

高齢者宅に手作り弁当配達

町民生委員・児童委員協議会(片岡浩喜会長)は2月9日、町内の高齢者宅に手作りの弁当を届けました。これは、75歳以上の一人暮らしを対象にした友愛訪問で、20年以上続く取り組みです。材料費は、町社会福祉協議会(本山浩二会長)からの補助金を活用。山菜おこわ弁当を約430個作って、配達しました。できたての弁当を受けとった本村節子さん(滝川)は、「今日は病院に行かなくて良かったです。弁当は味もよくて、心を込めて作ってあるからおいしい。半分ずつに分けて、明日まで食べたい」と笑顔を弾ませていました。



民生児童委員の宮崎信輔さん④から弁当を受けとる本村さん④

日本一のロボットに興味深く見学する園児



みふねのロボットだいすき

滝尾幼が御船高でロボット体験

滝尾幼稚園(古閑美千子園長、76人)の年長児が2月27日、御船高校を訪れて、ロボット操作の実演や体験を行いました。これは、町が進める学園都市構想の一環で、交流やものづくりへの関心を目的とした取り組みです。7度の日本一に輝いたロボット班と、全国大会3位の実績を持つマイコンカー班の生徒が、実際にロボット操作を実演した後、園児たちもシャトルロボットやライントレーサーを体験しました。園児の本田響涼くん(辺田見)は、「ロボットだいすき。またあそびにきたいな」と楽しそうでした。